



從四位勲三等西村捨三
特旨ヲ以テ位一級被進

從四位勲三等西村捨三

敘正四位

右謹テ裁可ヲ仰ク

明治廿六年三月十日

内

閣

内閣總理大臣伯爵伊藤博文

農部一〇 三月十日裁可 三月十五日達府

明治廿六年三月十日 内閣書記官

内閣總理大臣 書又 内閣書記官長 其

元農商務次官後四位勲三等西村捨三、明治
十年二月内務權少書記官、出身以來累年陞進、
内務省庶務局警保局長ヲ歴テ十六年十二月沖
繩縣令並判事ヲ無任尋テ内務省土木局長ニ轉
任シ廿二年三月大坂府知事ニ任シ勅任官二等
ニ叙廿四年六月農商務次官ニ陞任勅任官
一等ニ被叙前後高等官ニ在ルコト十六年一日、
如シ其間功績不少、依廢令般依願免官相成
候ニ付叙位進階内則第五條ニ依農商務大臣奏
請、通特ニ位一級被進正四位ニ被叙然レシ

内閣



前農商務次官兼農商務省農務局長西村捨三
今般諭旨、上本官并兼官ヲ免セラレタルニ付
テハ叙位進階内則第五條ニ據リ特ニ叙位進
階相成度別紙功勞書并履歷書相添上奏
書進達ス

明治廿六年三月十日

農商務大臣伯爵後藤象二郎



内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

農商務省

正四位

從四位勲三等西村捨三

右ハ在職六年以上ニシテ其勤勞尠カラサルニ
依リ前記ノ通特ニ叙位セラレシコトヲ請フ

明治廿六年三月十日

農商務大臣伯爵後藤象二郎



農商務省

功勞書

從四位勲三等西村捨三

明治元年二月彦根藩兵、伍し東征、軍に從り、
十月東京に凱還し大総督熾仁親王殿下ヨリ
白縮緬一匹ヲ賞賜せラル後彦根藩公議人ト為
リ参事ヲ歴テ權大参事ト為ル四年長濱縣權参
事ト任シ尋テ島根縣参事ト轉ス五年官ヲ辞シ
歐米各國ヲ巡遊ス十年帰朝内務省御用掛ト為
リ尋テ内務權少書記官ト任ス九州地方騷擾ス
ニ及ヒ命ヲ奉シテ大分縣下ニ赴キ勤勞少カラサ

農商務省

ルヲ以テ事平グノ後金百五十圓ヲ賞賜せラル十
二年内務少書記官ト任シ庶務局長ト補シ地方官
會議草案取調掛及地方官會議御用掛ヲ命
セラル十三年地方官會議ヲ開カル、ニ方リ更ニ内
閣委員ヲ命セラル尋テ内務權大書記官ニ進ミ
十四年警保局長ニ補シ中央衛生會委員ヲ命
セラル十五年更ニ府縣士族廢卒授産資金ニ係
ル樞密事務主任ヲ命セラル尋テ内務大書記官
兼参事院負外議官補ニ任シ十六年更ニ沖繩
縣令及判事ニ兼任ス十九年土木局長ニ任ス

是歲沖繩縣令兼任中屢風濤ヲ犯シテ任地ニ往復セシ勤勞ヲ追録セシ花瓶一對ヲ賞賜セラル二十年公用土地買上規則及地所名稱區別調査委員ヲ命セラル廿一年更ニ道路條例取調委員ヲ命セラル廿二年大坂府知事ニ任ス廿四年農商務次官ニ轉シ農務局長ヲ兼ス農商務省會計出納下検査官及臨時博覽會事務局評議員ヲ命セラル其他廿四年以來帝國議會ノ開會毎ニ農商務省所管事務政府委員ヲ命セラル議院ニ出テ職務ニ執掌セリ以上記スル所ノ如ク

農商務省

在官十六年以上ニシテ其間職務ニ勵精スルコト終始一日ノ如ク勤勞成績實ニ少カラストス

後四位 西村 捨三

滋賀縣士族 旧彦根藩 旧名 得三郎
弘化元年七月廿九日 近江国犬上郡彦根下片原 於生

明治元年二月

全年十月

全年四月

八月

十月

全年十月廿五日

年月日不詳

彦根藩 軍事方ニテ 東征ニ從軍

東京ニ凱陣有 栖川 總督宮御前ニ

於テ白絹緬一疋下賜

彦根藩 公議人

任彦根藩 少參事

任彦根藩 權大參事

任長濱縣 權參事

東征賞典トシテ 彦根藩ヨリ 四斗俵五

十五俵給與

十二月八日

全年一月廿日

任島根縣 參事
依願 免本官

島根縣

全年二月十三日

廿五日

廿六日

內務省御用掛申付月俸十分四給與候事 准
庶務局事務取扱申付候事
任內務權少書記官

內務省

四月十八日

五月廿日

十二月廿八日

叙正七位
大分縣出張申付候事

內務省

九州地方騷擾之際 尽力不少候事 為

其賞金百五十圓下賜候事

太政官

御用有之左ノ縣々出張申付候事

內務省

長崎縣 熊本縣 鹿兒島縣

七月廿日

御巡幸御用掛被仰付候事

公

全 日 御巡幸供奉御先奏被仰付矣事 全 太政官
全 任内務少書記官
全 横濱出張申付矣事 内務省
全 十日 庶務局長申付矣事 内務省

全 十一日 地方官會議草案取調掛申付矣事 内務省
全 十二日 叙後六位 太政官
全 十三日 地方官會議法用掛被仰付矣事 内務省

全 十四日 法用有之熱海出張申付矣事 内務省
全 十五日 地方官會議被開至府内閣委員被仰付矣事 内務省
全 十六日 庶務局長差免内局事務取扱申付矣事 内務省

全 十七日 地方官會議事務勉勵矣付為 内務省
全 十八日 慰勞金五拾圓下賜矣事 内務省
全 十九日 御巡幸御用掛供奉法先奏被仰付 全

全 九月七日 任内務權大書記官 太政官
全 十月廿一日 叙正六位 内務省

全 十月十四日 警保局長申付矣事 内務省
全 十一月十四日 内局事務取扱兼務申付矣事 内務省
全 十二月十四日 中央衛生會委員被仰付矣事 内務省

全 一月二日 千葉縣出張申付矣事 内務省
全 二月六日 警保局長差免内局事務取扱申付矣事 内務省
全 三月十四日 法巡幸法用掛被仰付矣事 内務省

全 四月廿一日 法巡幸供奉法先奏被仰付矣事 内務省
全 五月廿六日 中央衛生會編纂議事格別勉勵付別 内務省
全 紙目録を通り金五十圓報酬矣也 内務省

全 七月七日 中央衛生會委員被免矣事 内務省
全 九月九日 警保局長田辺良顕法巡幸供奉中同 内務省
全 局長心得ヲ以テ事務可取扱事 内務省

全年十一月九日 御巡幸供奉御先奏ニ付為慰勞金百

五十圓下賜之事

全

全年十一月十八日 府縣士族廢卒授產資金ニ係ル樞

密事務主任申付之事

全

全年十二月廿日 任内務大書記官兼參事院員外議

官補

太政官

全年十一月三日 叙後五位

全年五月六日 御用有之豆州熱海へ出張申付之事

但晝夜急行之事

全

全年九月廿四日 警保局長代理申付之事

全年十一月一日 警保局長代理差免之事

全

全年十二月廿日 兼任沖繩縣令

兼任判事 兼沖繩縣令如改

全

全年九月廿七日 任内務省土木局長

内閣

全年 叙奏任官一等

全年 廿八日 上級俸下賜

全

全年 九月十四日 沖繩縣令奉職中ノ事務引継トシテ同縣

へ出張ヲ命ス

内務省

全年 十月廿七日 量ニ沖繩縣令兼任中風濤ノ嶮ヲ冒シ

往復數回格別勉勵其勞不少依之

慰勞トシテ花瓶一對下賜

内閣

全年 十一月廿三日 第一第三第四土木監督署巡回ヲ命ス

全年 十二月八日 第六區土木監督署へ出張ヲ命ス

全

全年 三月廿五日 第四第五第六區土木監督署へ出張ヲ命ス

全年 七月七日 公用土地買上規則及地所名称區別調

査委員ヲ命ス

全

全年 第一區土木監督署へ出張ヲ命ス

全年 第一第二土木監督區巡回ヲ命ス

全

十月十七日 第三第四土木監督區巡回ヲ命ス

廿一年一月九日 神奈川縣横須賀へ出張ヲ命ス

三月廿六日 道路條例取調委員ヲ命ス

五月八日 第四第六土木監督區巡視ヲ命ス

七月五日 千葉縣へ出張ヲ命ス

十月十七日 第五區土木監督署へ出張ヲ命ス

廿二年三月五日 任大坂府知事

叙勅任官二等賜下級俸

廿日 叙從四位

十月廿五日 明治廿二年八月三日勅令第百三十三号ノ旨

ニ依リ大日本帝國憲法發布記念

章ヲ授与ス

廿三年一月三日 別格官幣社四條畷神社法靈代流奉

納ニ付勅使トシテ参向被仰付

賞勳局
宮内省

廿三年十月十日 地方官官俸額改正ノ事俸四千四百

廿四年六月十五日 任農商務次官

叙勅任官一等賜下級俸

六月五日 農商務省會計出納下検査官ヲ命ス

八月五日 大坂府へ出張ヲ命ス

十六年俸四千四百下賜 (官制改正ニ依リ) 廿四年七月廿四日勅令

兼任農商務省農務局長

九月廿六日 神奈川縣へ出張ヲ命ス

十月廿日 農商務省所管事務政府委員被仰付

十一月十日 二等官 (勅令二百十五号)

十二月十五日 臨時博覽會評議員被仰付

廿五年一月十五日 京都府へ出張被仰付

三月九日 農商務省列品所委員長ヲ命ス

十二月 手当トシテ金百圓下賜

四月一日 農商務省所管事務政府委員被仰付

臨時博覽會
内閣

内閣

ハ

農商務省

内閣

三月廿六日 明治廿二年中東京市赤坂区赤坂小学校建築費

トシラ金三四百圓付候段奇特候事

六月廿九日 叙勲三等賜瑞寶章

九月廿日 島根廣島愛媛三縣下巡回ラ余ス

十月廿日 叙高寺官一等 (勲令第九十六号)

十一月 農商務省所官事務政府委員被仰付

十二月 手當トシラ金三百圓下賜

九月 事務格別勉勵付金百五十圓賞典ス

依願免本官并兼官 (諭旨)

臨時博覽會事務局評議員被免

臨時博覽會

内閣